

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



先週の一面の銀世界

有田小 第21回やきもの展を開催! ありがとうございました!

1月30日午後、第21回はやきもの展を開催しました。今年度、子ども達にやきものの指導や準備をして頂いた8名の方々、ありがとうございました。制作だけでなく、窯入れ、焼成後の割れた作品の修理等などをして頂き、感謝しています。第21回という、有田小の伝統と歴史あるやきもの展が、これからも続いていくことを願っています。PTAの伝統文化部の皆さんがやきものの先生方への依頼や、粘土等の材料を準備して頂きました。ありがとうございました。来年度に向け、やきものの先生の依頼がありましたら、保護者の皆様も引き受けて頂けるようお願い申し上げます。

当日は、表彰はやきものの先生方へのお礼を行った後、深海商店の深海宗佑さんに貴重な講話をして頂きました。深海さんは、商店主だけでなく、有田歴史塾の代表、熊本大学自然科学教育部の非常勤講師もされています。講話の中で、有田焼きの歴史や呉須、ルイヴィトンとの連携やアリタダイニング等など、有田焼きのこれからの可能性を教えてくださいました。深海さん、ありがとうございました。

有田小やきもの展を通して、子ども達にふるさとを誇りに思い、希望を抱くことができました。



やきものの先生方、講話をされた深海さんへ、子ども達から感謝を伝えました。ありがとうございました。

授業参観で、有田っ子が活躍しました!

今年度、子ども達が教室で学ぶ様子を観て頂くのは最後の授業参観でした。子ども達は、それぞれの学びで発表をしたり話し合いをしたりして、これまで培ってきたことを発揮することができました。



1年生: 年長さんになわとびを見せる

2年生: できるようになったことを発表する

3年生: 算数で解き方を話し合う

4年生: お父さん達とドッチビーをする

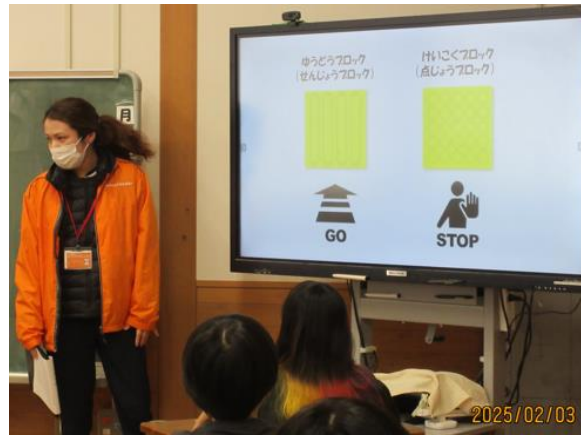
5年生: 社会科でタブレットを使う

6年生: 思い出を語る

3年生がブラインドウォークを体験しました！

福祉の授業の2回目で、視覚に不自由さを感じる人たちが歩く時の困難さや、補助者として支援する時の方法を体験しました。福祉課の方から、視覚に不自由さを感じる見え方や、補助者として周りの様子を伝えながら歩くことを教えてもらいました。その後、校外に出て実際の道を歩いてみると視覚に不自由さを感じる人の役をした子ども達は、段差や歩行の妨げになる物の影響を感じることができました。補助者の役をした子ども達は、できるだけゆっくり歩きながら、周囲の様子を伝えたり車が側を通り過ぎる時は一旦停止したりしながら支援することができました。児童玄関前には点字ブロックがあるものの、校外に出ると未だ整備されていない所もあり、視覚に不自由さを感じる人たちにとっては、難しいことがあることも学びました。福祉課の方々、寒い中、ありがとうございました。

今回のブラインドウォーク体験を通して、1回目に学んだ福祉とは「ふ…ふだんの く…くらしをし…しあわせにする」ことを実感することができました。今回の校外でのブラインドウォークを体験する際の安全を確保するために、防犯ふれあい隊の方々が子ども達の安全を見守って頂きました。ありがとうございました。第3回は、車椅子体験を行う予定です。その時も宜しくお願いします。



福祉課の方から、視覚に不自由さを感じる見え方や点字ブロックの意味、補助者の役割を教えてくださいました。



福祉課の方や防犯ふれあい隊の方の見守りの下、視覚に不自由さを感じる役と補助者役を交代して体験しました。

全校で、火災避難訓練を実施しました！

年3回行っている、火災地震避難や不審者対応の訓練で、今回は子ども達に前もって火災避難を伝えずに実施しました。給食室からの出火の想定で、児童クラブ横の日時計のあたりに避難しました。全児童の避難が完了するまでに、2分19秒の素早さで移動しました。その後、「お…押さない か…かけない(校舎内では走らない) し…しゃべらずに口をハンカチで覆う も…火元に戻らない」ことを確認しました。



避難後に注意点を聞く子ども達